

令和 6 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 政策科学総合研究事業

分析ガイドラインの改定に向けた費用対効果評価における方法論
およびツール等の開発に関する研究
分担研究報告書

介護者の QOL を費用対効果評価に含める際の諸問題に関する研究

研究分担者 能登 真一

新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部
医療経済・QOL 研究センター

I. 介護者の QOL と費用対効果評価に関する諸問題

1) 背景

近年、小児の難病や認知症など家族などインフォーマル・ケアラーの介護負担を考慮すべき疾患の治療薬が登場し、その費用対効果評価の際に介護者への影響を含めることの議論が盛んになっている。

日本のガイドラインでも、「8 効果指標の選択」の中で、「8.7 公的医療・介護の立場」からの分析の場合、実際のデータがあれば家族等の介護者や看護者に与える QOL 値への影響について考慮に入れてもよい。」と明記されている。

一方で、海外の HTA 機関や学会などにおいても、共通の認識やガイドラインなどの策定には至っておらず、対応も分かれている。今後、国内でも介護者に影響を与える新薬が承認される可能性も高く、現時点の内外の状況を整理しておく必要がある。

2) 目的

各国 HTA 機関の介護者の QOL の扱いを確認し、それらの動向をまとめること。また、Carer QALY Trap について、その問題点と対応策についても紹介する。

3) 方法

各国の HTA 機関のガイドラインなどをレビューするとともに、関連する先行論文を調べる。

4) 結果

(1) 諸外国の HTA 機関のガイドライン

① NICE (イギリス) ¹⁾

介護者の HRQL は、関連性があると判断される場合には、ベースケース分析に含めるべきである」と明記しており、評価では「患者に加え、介護者の健康への影響も考慮すべき」としている。ただし、実際に介護者の HRQL を含めて評価されたのは、414 件の技術評価のうち 12 件のみであり、実運用ではまだ限定的である。介護者の disutility として評価した 5 つの事例を以下に示す。

治療薬と対象疾患		NICE の対応
HST19	エロスルファールゼ アルファ (ムコ多糖症IVA 型)	ベースケースで介護者の disutility を含めた
TA585	オクレリズマブ (多発性硬化症)	ベースケースで介護者の disutility を含めた
TA588	ヌシネルセン (脊髄性筋萎縮症)	介護者の disutility を含めたが、患者の延命により一部で負の影響が発生
HST10	パチシラン (アミロイドーシス)	ベースケースに含めたが、データの妥当性には議論あり
HST11	ボレチゲン ネパールボベク (網膜疾患)	ベースケースで介護者の disutility を含めた

② TLV (スウェーデン) ²⁾

家族やケアラーの QOL を含めるべきかどうか、あるいはどのように含めるかは「さらなる議論が必要な論点」として言及されている。一方で、新たな価値観として、近親者の介護者の生活の質はデータで把握できる可能性が最も高いと明記した。TLV は介護者の QOL を考慮すべきかどうかについて、明確な結論を導き出しているわけではないが、1 つの結論として、そこには価値観が重要であり、倫理的に考慮することが妥当である場合、それが個別化医療、ATMP (advanced therapy medicinal products)、またはその他の技術の種類に関係するかどうかに関わらず、考慮すべきであると述べている。さらに、この問題点は諸外国の行政機関では考慮されている価値観であるため、この価値を捉えるデータ取得の好機であり、諸外国の関係当局との連携が重要となると述べている。

③ ZiN (オランダ) ³⁾

ZiN は介護者の HRQL を、明確に「参考分析 (reference case)」に含めるべきであるとしている。ガイドラインでは、「誰が費用を負担し、誰が利益を得るにかかわらず、すべての社会的コストと便益を考慮する必要がある」と明記されている。

このように、ZiN は明確に社会的視点 (societal perspective) を支持しており、介護者の QOL も対象に含めるという立場をとっている。

治療薬と対象疾患	ZiN の対応
ヌシネルセン (脊髄性筋萎縮症)	介護者の utility を使ったシナリオ分析を実施
パチシラン (アミロイドーシス)	シナリオ分析で含めた (使用データの出典は不明)
ボレチゲン ネパールボベク (網膜疾患)	米国の研究を元に介護者の QOL を含めた分析を実施 (ただし、適用可能性の議論はなし)

④ IQWiG (ドイツ) ⁴⁾

IQWiG は介護者の HRQL を評価に含めるかどうかは、評価依頼時の「依頼者の視点 (perspective in the commission)」に依存するとしている。明確に「参考分析に含める／含めない」とは規定していないが、以下のような記述がある。「介入は、間接的に影響を受ける人々 (例：家族や介護者) に対しても影響を及ぼす可能性がある。必要に応じて、これらの影響も報告の中で考慮されうる」と。つまり、含めることは可能だが義務ではなく、依頼内容により判断されるという柔軟な立場を取っている。

⑤ HAS (フランス) ⁵⁾

HAS は、介護者の HRQL を評価に含めることを明確に支持しており、「参考分析 (reference case)」に含めるべきであるとしている。ガイドラインの記述には以下のように明記されている。

「健康アウトカムの評価は、対象となる集団 (すなわち、患者、医療サービスの利用者、介護者) にとって関連する健康効果を識別する。」つまり、介護者を「影響を受ける当事者」として正式に認識しており、患者だけでなく介護者も含めて健康アウトカムを評価すべきという姿勢である。特に「集合的視点 (collective perspective)」という言葉を用いて、医療制度全体での影響や関係者の包括的な QOL の変化を捉えるアプローチを重視している点に特徴がある。しかしながら、実際に介護者の QOL を含めた分析は行われていない。

⑥ CADTH (カナダ) ⁶⁾

CADTH は「介護者の HRQL を参考分析 (非基準分析) に含めるべき」としており、ガイドラインでは、以下のように明記されている。

「評価対象の介入のターゲット集団が患者だけでなく介護者も含む場合、介護者の

影響を考慮すべきである。そうでない場合、介護者の影響は感度分析や補足的な分析としてのみ扱われる。」

治療薬と対象疾患	CADTH の対応
エロスルファーマーゼ アルファ (ムコ多糖症IVA 型)	シナリオ分析として介護者の disutility を考慮した

⑦ PBAC (オーストラリア) ⁷⁾

PBAC は「介護者の HRQL は、ベースケース (reference case) には含めるべきではない」と明記している。ガイドラインでは以下のように述べられている。

「PBAC の基本的視点は、医療制度視点であり、アウトカムは主に患者に関連するものとする。患者以外 (例：介護者や家族など) の健康アウトカムは補足的な分析で取り扱う。」

よって、原則として介護者の QOL はメインの経済評価には含めないという明確な立場である。もし患者以外の人々 (コミュニティ、家族、介護者など) に有意な影響がある場合は、補足的な分析 (supplementary analysis) での考慮は許容されている。

⑧ SMC (スコットランド) ⁸⁾

SMC のガイドラインは一見、介護者の HRQL の含有を認めているように見えるが、実際には非常に限定的である。ガイドラインには、「アウトカムの評価は、患者や関連する他者 (主に介護者) に対するすべての直接的な健康影響を含めるべきである。」としつつ、別の箇所では「介護者やその他のグループに関する QALY (質調整生存年) のデータがある場合でも、SMC の評価視点の外にあるため、分離した分析として提示すべきである。」と。つまり、介護者の QOL は SMC の正式なベースケース (基本的経済評価) には含まれないが、補足的に示すことは許容されている、という姿勢である。

治療薬と対象疾患	SMC の対応
ボレチゲン ネパールボベク (網膜疾患)	ベースケースに含めた

以上の通り、各国の介護者の QOL の扱いについては、考慮すべきであるという明記があるものの、一貫性がなく、対応策についても一致点は見つけられなかった。

個別の品目への対応を以下の先行研究を抜粋して図 1 に示すが、介護者の QOL を含めることで QALYs を増加させている分析がある一方で、NICE の ERG の指摘では逆にマイナ

スとなっている。これはまさに、後述する **Carer QALY Trap** による影響であり、患者の生命予後が延長されることによって、介護者の **disutility** の期間も延長されるため、社会の視点で見た際には獲得する **QALYs** がマイナスになることを物語っている。

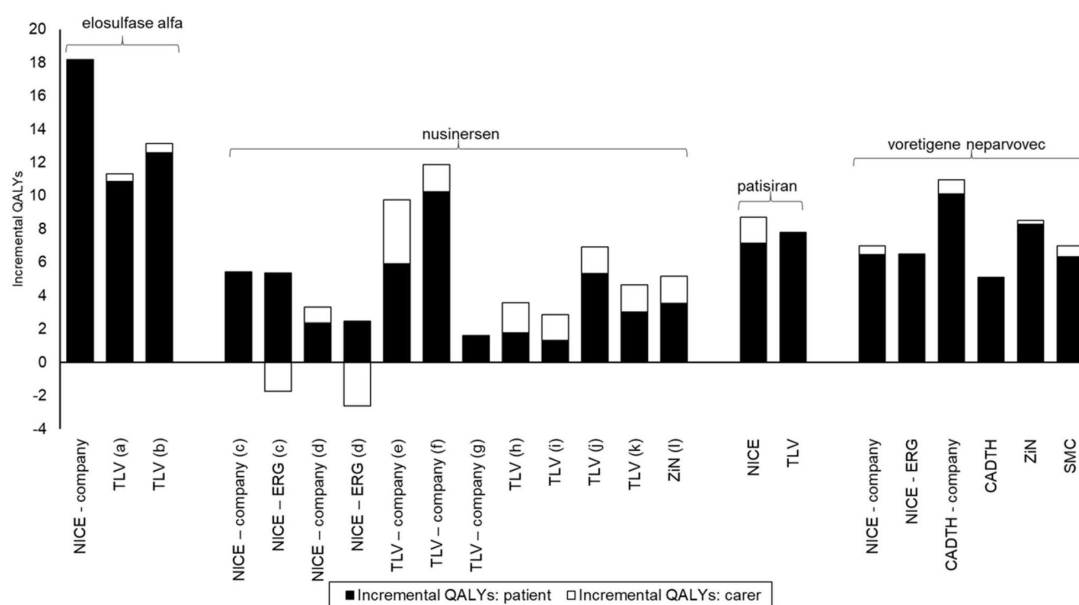


Fig.1 Impact of including carers' HRQL on incremental QALYs. **a** SMA type II, **g** SMA type III; **h** SMA type Ia; **i** SMA type Ib; **j** SMA type IIa; **k** SMA type IIb; **l** SMA type II/I
c early onset; **d** late onset; **e** spinal muscular atrophy (SMA) type I; **f**

図 1. 介護者の QOL を QALY に加味した際の影響⁹⁾

この介護者の QOL を費用対効果評価に含めるかどうかをまとめた Pennington らは、以下のようなポイントを提言として発表している。

- ① 介護者の QOL を含める理由を明確にすること
- ② 可能であれば、実際に影響を受ける対象の介護者データを使用すること
- ③ 他国や他の疾患領域からデータを転用する場合は、正当性と限界を明示すること
- ④ 横断的データを使用する場合は、比較対象の妥当性を検証すること
- ⑤ モデルの仮定と影響を明確にすること
- ⑥ 患者と介護者の結果を分けて提示し、感度分析で含有・非含有の両方を評価すること

以上の通り、諸外国の HTA 機関における介護者の QOL を費用対効果評価にどのように含めるのかについて、明確な決定がなされていない。また、ガイドラインに明記されていても、実際の事例はまだ少なく、対応策を決めかねている状況であると理解された。

(2) Carer QALY Trap の問題点と対策

費用対効果評価において、新薬が患者の延命に寄与する場合、家族などインフォーマルな介護者が介護する期間も延長することとなる。この場合、家族などが無償で行う介護はインフォーマルケアと呼ばれ、自己負担費用の増加、時間の損失、生産性の低下、そして介護者自身の QOL の低下をもたらす。これら患者の治療が介護者にもたらす種々の影響をインフォーマル・ケアラーの **spillover effect** と呼ぶが、この介護の期間の介護者の QOL を費用対効果評価に含めることによって、新薬によって新たに獲得する QALY を増減させることになる¹⁰⁾。

さらに、患者の QOL の改善よりも介護者の介護負担が大きい場合、つまり患者の **utility** よりも介護者の **disutility** の方が大きい場合に、獲得 QALY を減少させることになる。つまり、新薬の登場によって、患者の寿命は延びるが、そのことは社会的にみると、費用対効果評価に優れないということになってしまう。このような現象は **Carer QALY Trap** と呼ばれ、様々な議論を巻き起こしている¹¹⁾。

まず、費用対効果評価を技術的な視点から見れば、**disutility** を含めることは、これまで多くの薬剤の分析で用いられてきたためそれほど難しいことではない。これが介護者の **disutility** であったとしても、それを単純に QALY の積算に反映させることが、仮にそのことによって結果的に獲得 QALY が減少したとしても正当な手法と言える。

一方で、患者の延命をもたらす新薬が介護者の QOL を含めることで費用対効果評価を悪化させる、あるいはその結果が償還の可否に影響を与えることは、そのような疾患を抱える患者や家族にとっては受け入れがたいということも納得できる。

このような **Carer QALY Trap** と呼ばれる難問を解決しようと、いくつかの提案がなされてきている。その一つは、**bereavement** と呼ばれる、近親者の死によってもたらされる悲哀を費用対効果評価に加味する手法である。図に示すように、患者が早期に死亡することによってもたらされる悲哀が、新薬の投与によって先延ばしされ、少ない悲哀で済むとしたなら、**Carer QALY Trap** を回避できるという理論である¹²⁾。

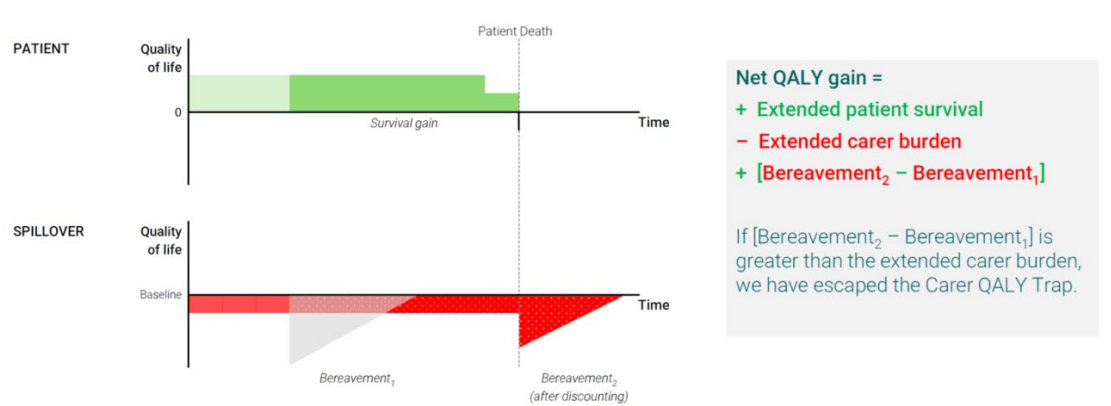


図2. Bereavement を含めた場合の Carer QALY Trap の回避方法¹²⁾

また、Carer QALY Trap には、家族が介護者になるマイナス面だけを評価しているとして、利他的に介護するというプラスの面も加味するべきという意見もある。多くの家族にとって、患者が早く死亡するよりも、介護が必要であっても長生きしてほしいと望むと考えられるため、この利他主義に基づく理論を費用対効果評価にどのように反映させるかということを経、検討していかなければならない。

疾患と費用対効果評価のモデルにもよるが、対象疾患がいくつかの重症度によって推移していく場合、重症化を遅らせることによる disutility の回避分を遅延効果として費用対効果評価に加味すれば、獲得 QALY を減少させることはないため、Carer QALY Trap の回避につながるかもしれないと考えている。

5) 参考文献

- 1) National Institute for Health and Care Excellence. NICE health technology evaluations: the manual 2022.
- 2) Tandvårds- och läkemedelsförmånsverket. Health Economics. 2020
- 3) Zorginstituut Nederlands. Guidelines for economic evaluations in Healthcare. 2016
- 4) Institut für Qualität und Wirtschaftlichkeit im Gesundheitswesen. General Methods (Version 5.0). 2017
- 5) Haute Autorité de Santé. Choices in Methods for Economic Evaluation. 2020
- 6) Canadian Agency for Drugs and Technologies in Health. Guidelines for the Economic Evaluation of Health Technologies: Canada (4th Edition). 2017
- 7) Pharmaceutical Benefits Advisory Committee. Guidelines for preparing a submission to the Pharmaceutical Benefits Advisory Committee version 5.0. 2016
- 8) Scottish Medicines Consortium. Guidance to submitting companies for completion of New Product Assessment Form. 2020
- 9) Pennington B, Eaton J, Hatzwell AJ, Taylor H. Carers' Health-Related Quality of Life in Global Health Technology Assessment: Guidance, Case Studies and Recommendations. Pharmacoeconomics. 2022 Sep;40(9):837-850.
- 10) Mott DJ, Schirmacher H, Al-Janabi H, Guest S, Pennington B, Scheuer N, Shah KK, Skedgel C. Modelling Spillover Effects on Informal Carers: The Carer QALY Trap. Pharmacoeconomics. 2023 Dec;41(12):1557-1561.
- 11) Tilford JM, Tarlan A. The carer QALY trap and altruism in economic evaluations. Pharmacoeconomics. 2023;41(12):1553-5.
- 12) Skedgel C, Lavelle T, Pennington B, Knies S. Should Health Technology Assessment Include the Bereavement Effect on Health-Related Quality of Life? What Difference Could It Make to Decisions About Life-Extending Treatments? ISPOR EU issue panel 106. 18 Nov. 2025.

II. QOL 値データベースのアップデート

1) 目的

平成 26 年（2014 年）度の厚生労働科研福田班において、国内で調査された QOL 値に関する論文のデータベースを構築した。これは国内の費用対効果評価制度、そして医療経済評価研究に欠かせないデータのひとつである QOL 値について、日本国内で調査された研究論文を集めたものである。

このデータベースを毎年アップデートし、関係する方面で広く役立ててもらおうということが本研究の目的である。

2) 方法

データベースは 1 年に 2 回の割合で、対象となる年の翌年当初にアップデートしている。対象は MEDLINE と医中誌であり、それぞれ国内で調査された QOL 値が掲載されている全論文をレビューした。

3) 結果

2024 年に新たに公表された論文は 46 本であり、2014 年からの累計は 573 本となった（図 3）。論文の内訳は英文が 32 本、和文は 14 本であった。また、疾患別では、例年同様、整形疾患領域の論文が最も多く、ついでがん領域の論文が続いた（図 4）。

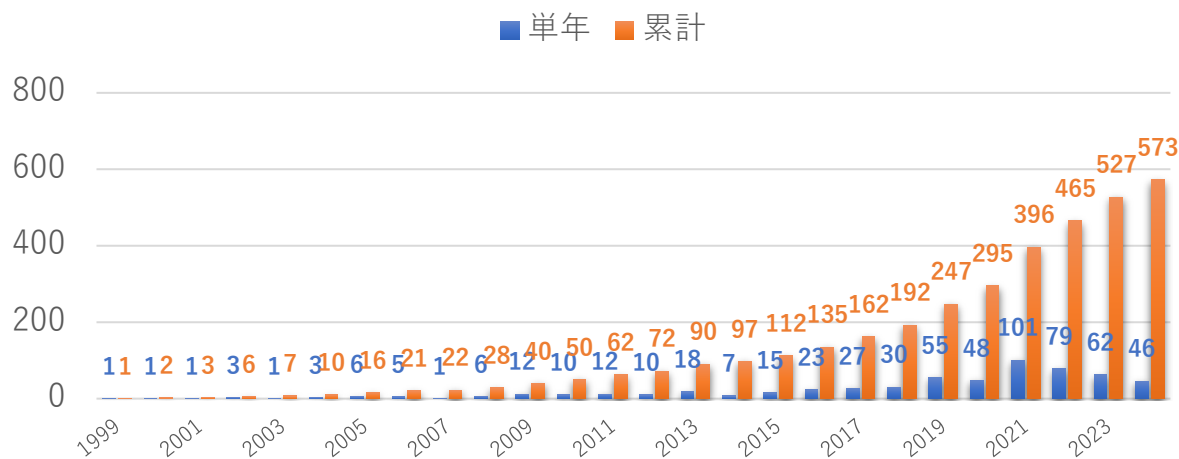


図 3. QOL データベースに掲載された論文の推移

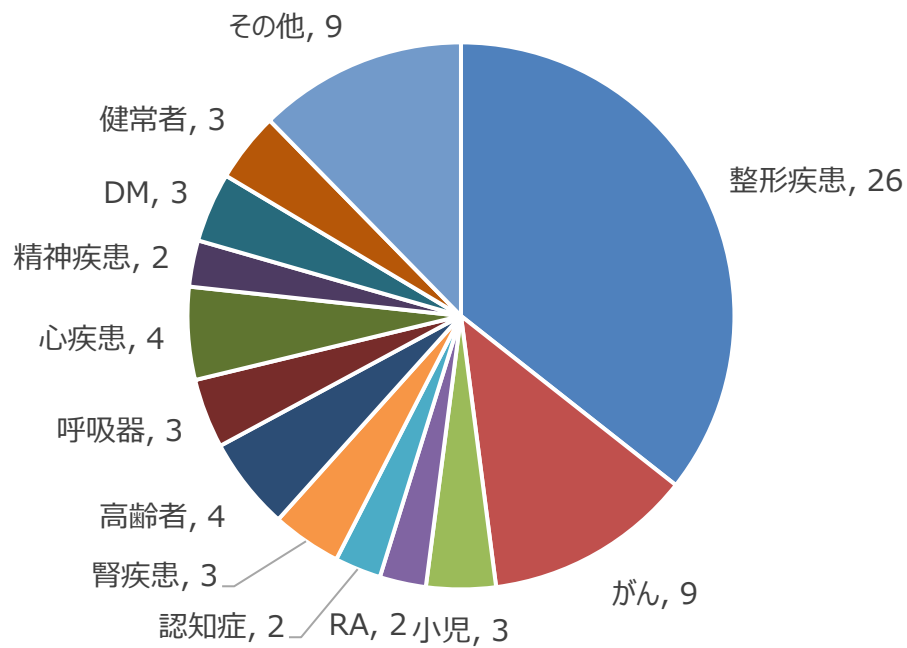


図 4. QOL 値が測定された疾患の内訳

4) 考察

国内で QOL 値を調査した論文の公表は昨年、一昨年と比べても減少した。疾患領域別では、整形外科疾患とがんの割合が多い点はこれまで同様であったが、その他の疾患の報告も増加傾向にあり、QOL 値の研究が疾患領域をまたいで広がってきていることが認識された。

5) Appendix

E374	2024	EQ-5D-5L	Rheumatoid Arthritis 関節リウマチ	42	Etanercept BS1	baseline	0.7	Medication treatment	longitudinal	Miyake N	Clin Rheumatol Rel Res	Effect of Etanercept BS1 on Functional Ability, Disease Activity and Health-Related Quality of Life in Elderly Japanese Patients with Rheumatoid Arthritis	36	102-113
						week26	0.83							
						week52	0.83							
E375	2023	EQ-5D-5L	Japanese workers 日本人労働者	3001	non-permanent workers	The first survey	0.895		longitudinal	Tran T	Niigata Journal of Health and Welfare	Change in sample characteristics owing to non-response in a nationwide web-based cohort study of mental health among non-permanent workers over a 1-year period during the	23 (1)	18-32

												COVID-19 pandemic in Japan		
				2351		The second survey	1.000							
				1568		The third survey	1.000							
				908	Employment workers	permanent workers	0.92							
				425		Non-permanent workers	0.907							
				75		Civil servant	0.914							
				113		Self-employed	0.917							
				47		Unemployed	0.808							
				908	Before matching	permanent workers	0.92							
				425		Non-permanent workers	0.91							
				235	After matching	permanent workers	0.9							
				235		Non-permanent workers	0.91							
				1568	The third survey	Respondents	0.893							
				783		Non- respondents	1							
E376	2023	EQ-5D-5L	diabetes mellitus 糖尿病患者	164	three major diabetic	with three major diabetic	0.87		longitudinal	Yamamoto M	Nagoya Journal of	Hand function and quality of	85(4)	659- 667

					complications	complications					Medical Science	life in patients with diabetes mellitus before and during the COVID-19 pandemic		
				253		without three major diabetic complications	0.9							
				121	diabetic hand	with diabetic hand	0.83							
				296		without diabetic hand	0.91							
				417	COVID-19 pandemic	Pre-COVID-19 pandemic	0.89							
						During COVID-19 pandemic	0.9							
E377	2023	EQ-5D	L4/5 Lumbar Disc Herniation L4/5 腰椎椎間板ヘルニア患者	19	the interlaminar endoscopic lumbar discectomy (IELD)	preoperative	0.53	Surgery	A Cross-Sectional	Takebayashi K	Neurologia medico-chirurgica	Comparison of the Interlaminar and Transforaminal Approaches for Full-endoscopic Discectomy for the Treatment of L4/5 Lumbar Disc Herniation	63(7)	313-320
						1year	0.87							
						2years	0.86							

				105	the transfbaminal endoscopic lumbar discectomy(TEL D)	preoperative	0.51							
						1year	0.84							
						2years	0.84							
E378	2024	EQ-5D-5L	Clostridioides difficile Infections(CDI) Clostridioides difficile 感染症	39	Time1 (baseline)	CDI-	0.6		longitudinal	Igarashi A	J.J.A.Inf.D	Impact on Quality of Life by Clostridioides difficile Infections among Hospitalized Patients in Japan	98 (1)	8-19
				21		CDI+	0.63							
				18	Time2(90-day follow-up)	CDI-	0.74							
				7		CDI+	0.83							
				1	Time1 (baseline)	Age 50-59	0.5							
				2		Age 60-69	0.81							
				18		Age ≥70	0.62							
				1	Time2(90-day follow-up)	Age 60-69	1							
				6		Age ≥70	0.8							

E379	2025	EQ-5D-3L	chronic musculoskeletal pain 慢性筋骨格系疼痛	34	Usual care	baseline	0.57		longitudinal	Hayashi K	Sci Rep	Utilization of telemedicine in conjunction with wearable devices for patients with chronic musculoskeletal pain: a randomized controlled clinical trial	15(1)	1396
						1month	0.55							
						3month	0.57							
						6month	0.57							
				37	Telemedicine	baseline	0.6							
						1month	0.63							
						3month	0.64							
						6month	0.64							
E380	2024	EQ-5D-3L	chronic pain 慢性疼痛患者	2360	chronic pain	Total	0.565		A Cross-Sectional	Igari H	Front Pain Res	Classifying chronic pain using ICD-11 and questionnaires-reported characteristics in Japanese patients with chronic pain	10.3389	1430870

				1178		chronic primary pain	0.582							
				1182		chronic secondary pain	0.548							
				296		MG30.01 classification	0.499							
				882		other chronic primary pain	0.61							
E381	2025	EQ-5D-5L	Schizophrenia 統合失調症	12	videoconference-based cognitive behavioral therapy for psychosis+usual care.	pre	0.7	Cognitive Behavioral Therapy	longitudinal	Katsushima M	JMIR Form Res	Effectiveness of a Videoconference-Based Cognitive Behavioral Therapy Program for Patients with Schizophrenia: Pilot Randomized Controlled Trial	9	59540
						post(week8)	0.8							
				12	usual care.	pre	0.8							
						post(week8)	0.7							
E382	2024	EQ-5D	Lumbar spinal canal stenosis 腰部脊柱管狭窄症	410	microendoscopic laminectomy group	preoperative	0.57	Surgery	longitudinal	Nakamoto H	BMC Musculoskeletal Disord	Comparison between microendoscopic laminectomy and open posterior	25(1)	955

												decompression surgery for two- level lumbar spinal stenosis: a multicenter retrospective cohort study		
						postoperative	0.77							
				472	open proup	preoperative	0.57							
						postoperative	0.76							
E383	2024	EQ-5D-5L	pulmonary arterial hypertension 肺高 血压症	110	Japan	Overall	0.8		A Cross- Sectional	R James White	Respir Med	Health-related quality of life and symptom concordance between patients and physicians in pulmonary arterial hypertension in the United States, Europe, and Japan	237	107869
				56		WHO-FC I : (World Health Organization Functional Class)	0.9							

				47		WHO-FCⅡ	0.7							
				7		WHO-FCⅢ	0.6							
E384	2024	EQ-5D-3L	lumbar disc herniation 腰椎 間板ヘルニア	270	preoperative low back pain Mild group(NRS0-3)	preoperative	0.54	Surgery	A Cross- Sectional	Nakajima K	Spine J	Correlation between severity of preoperative low back pain and postoperative outcomes in lumbar disc herniation surgery: a retrospective cohort study	0	1-11
						postoperative	0.85							
				343	preoperative low back pain Moderate group(NRS4-7)	preoperative	0.5							
						postoperative	0.81							
				315	preoperative low back pain Severe group(NRS8-10)	preoperative	0.4							
						postoperative	0.8							
E385	2024	EQ-5D-3L	Chronic Hemodialysis 慢性 血液透析患者	110	Chronic Hemodialysis	All patients	0.755		A Cross- Sectional	Sugahara K	Cureus	Relationships Between Various Parameters of Prolonged	16(9)	70126

												Sedentary Bouts and Health-Related Quality of Life (HRQOL) in Patients on Chronic Hemodialysis: A Cross-Sectional Study		
E386	2024	EQ-5D-5L	patients post cardiac and thoracic aortic surgery 心臓および胸部大動脈手術後患者	92	EQ-5D Index score Maintenance/improvement group	transfer to the general ward	0.5	Surgery	longitudinal	Sato M	J Patient Rep Outcomes	Characteristics of longitudinal changes in quality of life and associated factors in patients post cardiac and thoracic aortic surgery: insights from a prospective cohort study	8(1)	111
						discharge	0.76							
				83		At 6months	0.89							
				84		At 12months	0.89							
				25	EQ-5D Index score Declining group	transfer to the general ward	0.46							
						discharge	0.83							

				22		At 6months	0.78							
				22		At 12months	0.72							
E387	2024	EQ-5D-3L	Knee osteoarthritis 変形性膝関節症	78	total knee arthroplasty	preoperative	0.6	Surgery	longitudinal	Minoda Y	Sci Rep	Clinical outcomes and radiolucent line analysis in cementless mobile-bearing total knee arthroplasty: a prospective multicentre study in Japan	14(1)	20902
				78		6weeks	0.7							
				77		1year	0.9							
				77		2years	0.9							
E388	2024	EQ-5D-5L	atrial fibrillation 心 房細動患者	16	pulsed field ablation	baseline	0.92	Surgery	longitudinal	Yamane T	J Interv Card Electrophysi ol	Safety, efficacy, and quality of life outcomes of pulsed field ablation in Japanese patients with atrial fibrillation: results from the PULSED AF trial	10	1007
						12month	0.96							

E389	2024	EQ-5D-5L	pharmacotherapy on tension-type headache and migraine in children and adolescents 小児お よび青年の緊張型頭 痛および片頭痛	161	primary headache types	Total	0.82	physical therapy pharmacothera py	longitudinal	Adachi K	BMC Neurol	The effect of physical therapy integrated with pharmacotherap y on tension-type headache and migraine in children and adolescents	24(1)	316
				70		FETTH: Frequent episodic tension-type headache	0.9							
				36		CTTH: Chronic tension-type headache	0.75							
				43		EM: Episodic migraine	0.84							
				12		CM: Chronic migraine	0.78							
				70	FETTH: Frequent episodic tension-type headache	First	0.9							
						1month	0.9							
						Last	0.94							

				0.36	CTTH: Chronic tension-type headache	First	0.75								
						1month	0.82								
						Last	0.94								
				43	EM: Episodic migraine	First	0.84								
						1month	0.9								
						Last	0.94								
				12	CM: Chronic migraine	First	0.78								
						1month	0.82								
						Last	0.92								
E390	2024	EQ-5D-Y	inborn errors of metabolism 先天性代謝異常の患児	50	without developmental disabilities All patients	patient	0.957		A Cross-Sectional	Konomura K	Qual Life Res	Health-related quality of life and caregiver burden of pediatric patients with inborn errors of metabolism in Japan using EQ-5D-Y, PedsQL, and J-ZBI	33	3323-3333	
						proxy(caregiver)	0.979								
				26	Amino acid disorders	patient	0.962								

						proxy(caregiver)	0.991							
				23	Phenylketonuria	patient	0.957							
						proxy(caregiver)	0.99							
				3	Maple syrup urine disease	patient	1							
						proxy(caregiver)	1							
				9	Urea cycle disorders (citrin deficiency)	patient	0.927							
						proxy(caregiver)	0.95							
				7	Organic acid disorders	patient	0.955							
						proxy(caregiver)	0.976							
				2	Methylmalonic acidemia	patient	0.949							
						proxy(caregiver)	0.963							
				2	Propionic acidemia	patient	0.931							
						proxy(caregiver)	0.954							
				8	Fatty acid	patient	0.973							

					oxidation disorders									
						proxy(caregiver)	0.974							
				5	with developmental disabilities All patients	patient	0.878							
				14		proxy(caregiver)	0.821							
				3	Amino acid disorders	patient	0.769							
				7		proxy(caregiver)	0.781							
				2	Citrullinemia type 1	proxy(caregiver)	0.589							
				6	Organic acid disorders	proxy(caregiver)	0.867							
				3	Methylmalonic acidemia	proxy(caregiver)	0.795							
				2	Propionic acidemia	proxy(caregiver)	0.931							
E391	2024	EQ-5D-3L	degenerative cervical myelopathy 頰椎症性脊髄症	17	clinical characteristics	Diabetes mellitus	0.5		A Cross-Sectional	Mizoguchi Y	Health Sci Rep	Association between diabetes, obesity, and quality of life in preoperative	7(8)	70005

												patients with degenerative cervical myelopathy: A cross-sectional study		
				69		Nondiabetes mellitus	0.5							
				27		Obesity	0.5							
				59		Nonobesity	0.5							
E392	2024	c TTO	pancreatic cancer すい臓がん患者	18	SD:stable disease	Physician	0.78		A Cross- Sectional	Sasahara Y	Front Health Serv	Quality-of-life survey of pancreatic cancer patients: a comparison between general public and physicians	4	127549 6
				201		General public	0.63							
				18	SD + Neutropenia G1/2 : State of SD with grades 1 - 2 neutropenia.	Physician	0.76							
				201		General public	0.65							
				18	SD + Neutropenia G3/4 : SD with	Physician	0.76							

					grades 3 - 4 neutropenia.										
				105		General public	0.51								
				18	SD + FN : SD with grades 3-4 FN	Physician	0.47								
				201		General public	0.32								
				18	SD + Diarrhea G1/2 : SD with grades 1 - 2 diarrhea.	Physician	0.7								
				105		General public	0.5								
				18	SD + Diarrhea G3/4 : SD with grades 3 - 4 diarrhea	Physician	0.55								
				201		General public	0.31								
				18	D + Nausea/Vomitin g G1/2 : SD with grades 1-2 nausea and vomiting.	Physician	0.62								
				201		General public	0.42								
				18	SD + Nausea/Vomitin g G3/4 : SD with grades 3-4	Physician	0.48								

					nausea and vomiting.									
				105		General public	0.24							
				18	SD + Neuropathy G1/2 : SD with grades 1 - 2 peripheral neuropathy.	Physician	0.72							
				105		General public	0.54							
				18	SD + Neuropathy G3/4 : SD with grades 3 - 4 peripheral neuropathy.	Physician	0.62							
				201		General public	0.37							
				18	PD : progressive disease	Physician	0.15							
				201		General public	-0.12							
E393	2024	EQ-5D-5L	COVID 新型コロナ ウイルス感染症	588	levels of glucose	normoglycemic (NG) group	0.72	Blood Glucose Measurement	longitudinal	Yokoyama S	J Clin Med	Importance of Blood Glucose Measurement for Predicting the Prognosis of Long COVID: A Retrospective Study in Japan	13	4099

				35		hyperglycemic (HG) group	0.73							
E394	2024	EQ-5D	non-Hodgkin's lymphoma 非ホジ キンリンパ腫患者	60	All regimens	before chemotherapy	0.853	chemotherapy	longitudinal	Tanaka K	Oncol Lett	Quality of life assessment and cost-utility analysis of initial chemotherapy for patients with non-Hodgkin's lymphoma: A prospective analysis	28 (3)	430
						after chemotherapy	0.868							
				38	CHOP ± R, cyclophosphami de, doxorubicin, vincristine, prednisolone, rituximab	before chemotherapy	0.841							
						after chemotherapy	0.876							
				12	GBend, obinutuzumab, bendamustine	before chemotherapy	0.889							
						after chemotherapy	0.895							

				2	A-CHP, brentuximab vedotin, cyclophosphami de, doxorubicin, prednisolone	before chemotherapy	0.868							
						after chemotherapy	1							
				2	RHyperCVAD, rituximab, cyclophosphami de, doxorubicin, vincristine, dexamethasone	before chemotherapy	1							
						after chemotherapy	0.839							
				1	CODOX-M, cyclophosphami de, doxorubicin, vincristine, methotrexate;	before chemotherapy	1							
						after chemotherapy	0.461							
				1	RBend, rituximab, bendamustine	before chemotherapy	0.823							
						after chemotherapy	0.867							

				1	EPOCHR, etoposide, vincristine, cyclophosphami de, doxorubicin, prednisolone, rituximab	before chemotherapy	0.895								
						after chemotherapy	0.782								
				1	PolaRCHP, polatuzumab vedotin, rituximab, cyclophosphami de, doxorubicin, prednisolone	before chemotherapy	0.245								
						after chemotherapy	0.659								
				1	Bend, bendamustine; Devic, carboplatin, ifosfamide, etoposide, dexamethasone.	before chemotherapy	1								
						after chemotherapy	0.889								
				1	Devic	before chemotherapy	0.823								

						after chemotherapy	0.71							
E395	2024	EQ-5D-5L	mild cognitive impairment 軽度認 知障害患者	24		pre	0.92	non- pharmaceutical multimodal intervention	longitudinal	Nakagawa S	Contemp Clin Trials Commun	Efficacy of a non- pharmaceutical multimodal intervention program in a group setting for patients with mild cognitive impairment: A single-arm interventional study with pre- post and external control analyses	40	101326
						post (8 month)	0.93							
E396	2024	EQ-5D-3L	Bone Metastasis Cancer 骨転移患者	200		initial assessment	0.57	Conservative Therapy	longitudinal	Fujii Y	Medicina	Evaluation of Changes in Activities of Daily Living and Quality of Life of Patients with Bone Metastasis Who Underwent Conservative Therapy through Bone	60	906

												Metastasis Cancer Boards		
						reassessment	0.64							
E397	2024	EQ-5D-5L	distal tibia fracture 遠位脛骨骨折	10		52 weeks after surgery	0.876	Surgery	A Cross- Sectional	Yamakawa Y	Injury	Preliminary results of stabilization of far distal tibia fractures with the distal tibial nail: A prospective, multicenter case series study	55	111634
E398	2024	EQ-5D-5L	heavy menstrual bleeding or anemia 月経過多や貧血	385	All population		0.79		A Cross- Sectional	Ito K	BMC Womens Health	The quality of life and work productivity are affected by the presence of nausea/vomiting in patients taking iron preparations for heavy menstrual bleeding or anemia: a population- based cross-	24	303

												sectional survey in Japan		
					presence of nausea	Yes	0.67							
						No	0.83							
					presence of vomiting	Yes	0.61							
						No	0.81							
					presence of nausea/vomitin g	Yes	0.67							
						No	0.84							
					patinets with anemia		0.77							
					presence of nausea	Yes	0.67							
						No	0.81							
					presence of vomiting	Yes	0.61							
						No	0.78							
					presence of nausea/vomitin g	Yes	0.66							
						No	0.81							
E399	2024	EQ-5D-5L	diabetes 糖尿病	35	sex	male	0.288		longitudinal	Oe M	Int Wound J	Impact of foot ulcer-related factors on	21	14895

												quality of life in patients with diabetes: Prospective observational study		
				38		female	0.3							
				48	history of foot ulcers	first-ever foot ulcer	0.169							
				25		recurrent foot ulcer	0.534							
				47	monofilament test	normal	0.282							
				26		abnormal	0.316							
				15		first visit	0.542							
						healing complete	1							
E400	2024	EQ-5D-5L	musculoskeletal disorders 筋骨格系障害	51	All		0.759		A Cross-Sectional	Takahashi H	BMC Musculoskel et Disord	Safety and feasibility of in-hospital autonomous transportation using a driverless mobility for patients with musculoskeletal disorders: preliminary	25	352

												clinical study to achieve mobility as a service in medical care		
					group s		0.76							
					group d		0.759							
E401	2024	EQ-5D-3L	lumbar spinal stenosis and disk herniation 腰部脊柱管狭窄症および椎間板ヘルニア患者	144	LSS		0.526		A Cross-Sectional	Mizoguchi Y	Eur Spine J	Construct validation of the Japanese Core Outcome Measures Index and the impact of diseases on patient-reported outcome measures in preoperative patients with lumbar spinal stenosis and disk herniation: a single-center observational study	33	2198-2205
				52	LDH		0.427							
E402	2024	EQ-5D-5L	breast cancer 乳がん	18	cryoablation	baseline	0.9	cryoablation	longitudinal	Kawamoto H	Breast Cancer	Percutaneous ultrasound-guided cryoablation for	31	695-704

												early-stage primary breast cancer: a follow- up study in Japan		
						6M	0.9							
						12M	0.89							
						24M	0.95							
						36M	0.9							
						60M	1							
E403	2024	EQ-5D-5L	older critical illness survivors 高齢重篤 疾患	242	not frail	admission	0.8		longitudinal	Hongo T	BMC Geriatr	Long-term, patient- centered, frailty- based outcomes of older critical illness survivors from the emergency department: a post hoc analysis of the LIFE Study	24	257
						6M	0.73							
				148	frail	admission	0.58							
						6M	0.5							
E404	2024	EQ-5D-5L	Premenstrual Symptoms 月経前 症状	102	no or mild PMS	cycle1	0.843	Medication treatment	A Cross- Sectional	Takeda T	Int J Womens Health	The Japanese Version of the Daily Record of	16	299- 308

												Severity of Problems for Premenstrual Symptoms: Reliability and Validity Among the General Japanese Population		
						cycle2	0.87							
				11	moderate to severe PMS	cycle1	0.743							
						cycle2	0.751							
E405	2024	TTO	type 2 diabetes and obesity 2 型糖尿病および肥満	138		current weight	0.783		A Cross-Sectional	Matza L.S	J Med Econ	Health state utilities associated with weight loss: preferences of people with type 2 diabetes and obesity in Japan	27	370-380
						2.5% weight reduction	0.796							
						5% weight reduction	0.804							
						7.5% weight reduction	0.816							
						10% weight reduction	0.82							

						12.5% weight reduction	0.825							
						15% weight reduction	0.83							
						20% weight reduction	0.827							
E406	2024	EQ-5D-5L	peripheral neuropathic pain after thoracic surgery 末梢神経障害性疼痛	60	mirogabalin add-on group	baseline	0.5179	Medication treatment	longitudinal	Miyazaki T	BMC Cancer	Efficacy and safety of add-on mirogabalin to conventional therapy for the treatment of peripheral neuropathic pain after thoracic surgery: the multicenter, randomized, open-label ADMIT-NeP study	24	80
				50		8w	0.8497							
				65	conventional treatment group	baseline	0.6153							
				53		8w	0.8385							

E407	2023	EQ-5D-3L	Lumbar Degenerative Disease 腰椎変性疾患	22	achievement of MCID for EQ-5D at discharge	achieved	0.53 (median)	surgery	A Cross-Sectional	Ishibashi Y	Healthcare	Preoperative Motor Function Associated with Short-Term Gain of Health-Related Quality of Life after Surgery for Lumbar Degenerative Disease: A Pilot Prospective Cohort Study in Japan	11	3103
				28		not achieved	0.59 (median)							
E408	2023	EQ-5D-5L	Adult-Onset Hypophosphatasia 成人発症型低ホスファターゼ症	1	Asfotase Alfa	pretreatment	0.757	Medication treatment	longitudinal	Hidaka N	JBMR Plus	The Effect of Asfotase Alfa on Plasma and Urine Pyrophosphate Levels and Pseudofractures in a Patient With Adult-Onset Hypophosphatasia	7	10842
						6M	0.895							

	2025	EQ-5D-5L	Adults with Atopic Dermatitis 成人のアトピー性皮膚炎	882	Atopic Dermatitis Severity self-reported Patient-Oriented Eczema Measure (POEM)	clear/almost clear	0.895(median)		observational study	Hiroyuki Murota	Dermatol Ther (Heidelb)	Quality of Life in Adults with Atopic Dermatitis in Relation to Disease Severity: Nationwide Data in Japan	Online ahead of print.	Online ahead of print.
						mild	0.895(median)							
						moderate	0.895(median)							
						severe/very severe	0.867(median)							
	2025	EQ-5D-5L	degenerative cervical myelopathy 頸椎症性脊髄症	80	Skip-Fixation Group	Preop.	0.58	surgery	Multicenter, Randomized Controlled Trial	Koji Tamai	J Bone Joint Surg Am . 2025 Jan 15;107(2):144-151.	Open-Door Cervical Laminoplasty Using Instrumentation of Every Level Versus Alternate Levels: A Multicenter, Randomized Controlled Trial	107(2)	144-151

						1 yr postop.	0.78							
						2 yr postop.	0.78							
				75	All-Fixation Group	Preop.	0.63							
						1 yr postop.	0.74							
						2 yr postop.	0.76							
	2025	EQ-5D-3L	anterior urethral strictures 前部尿道狭窄症	100		Preoperative	0.75	surgery	retrospective study	Takahiro Minami	Int J Urol	Surgical and patient-reported outcomes of staged urethroplasty for anterior urethral strictures: A comprehensive analysis	Online ahead of print	Online ahead of print
						Postoperative	0.92							
	2025	EQ-5D-5L	osteoporosis 骨粗鬆症	532		baseline	0.80		prospective cohort study	Yoshinari Matsumoto	Geriatr Gerontol Int	Diet-related quality of life may directly and indirectly affect health-related quality of life through protein intake and frailty in patients with osteoporosis: Results from a	25(2)	243- 250

												prospective cohort study		
						1year	データなし							
		EQ-5D-5L								Tetsuo Saito	J Palliat Med	Health Utility of Pain Response Versus Nonresponse to Palliative Radiation Therapy for Symptomatic Bone Metastases: Analyses Based on Real-World Data from 26 Centers	28(1)	42-49
		EQ-5D-5L								Kazunori Honda	Int J Clin Oncol	Prospective changes in financial toxicity and health-related quality of life in patients with gynecologic cancer	30(2)	380-388

	2024	EQ-5D-5L	metastatic spinal tumors 転移性脊髄腫瘍	42	Spine Instability Neoplastic Score 0-6	Preop	0.40	surgery	multicenter prospective study	Hideaki Nakajima	J Neurosurg Spine	Surgical strategy for metastatic spinal tumors based on Spine Instability Neoplastic Score and patient-reported outcomes: JASA multicenter prospective study	29	1-12
						1 mo	0.65							
						6 mos	0.72							
				205	Spine Instability Neoplastic Score 7-12	Preop	0.25							
						1 mo	0.62							
						6 mos	0.66							
				70	Spine Instability Neoplastic Score 13-18	Preop	0.25							
						1 mo	0.58							
						6 mos	0.73							
				89	Spine	Preop	0.26							

					Instability Neoplastic Score 7-9									
						1 mo	0.61							
						6 mos	0.66							
				116	Spine Instability Neoplastic Score 10-12	Preop	0.24							
						1 mo	0.62							
						6 mos	0.67							
				15	Spine Instability Neoplastic Score 0-6, w/o Fusion	Preop	0.18							
						1 mo	0.39							
						6 mos	0.52							
				27	Spine Instability Neoplastic Score 0-6, Fusion Surgery	Preop	0.48							
						1 mo	0.67							
						6 mos	0.74							
				9	Spine Instability Neoplastic	Preop	0.29							

					Score 7-9, w/o Fusion									
						1 mo	0.73							
						6 mos	0.74							
				80	Spine Instability Neoplastic Score 7-9, Fusion Surgery	Preop	0.26							
						1 mo	0.60							
						6 mos	0.66							
	2024	EQ-5D-5L	osteoporotic vertebral fracture		Balloon kyphoplasty	at the admission, Ultra early (<14 days)	0.31	surgery	retrospecti ve cohort study	Masatoshi Teraguchi	J Orthop Sci	Effectiveness of ultra-early balloon kyphoplasty at one year after osteoporotic vertebral fracture	Online ahead of print	Online ahead of print
						at one year follow up, Ultra early (<14 days)	0.79							
						at the admission, Ultra early Early (14e28 days)	0.45							
						at one year	0.66							

						follow up, Ultra early Early (14e28 days)								
						at the admission, Ultra early Conventional (29e90 days)	0.46							
						at one year follow up, Ultra early Conventional (29e90 days)	0.65							
		EQ-5D-5L	COVID-19							Toshiki Miwa	J Public Health (Oxf)	Association between public health measures and the public's well-being during the pandemic: a nationwide Japanese study	Online ahead of print	Online ahead of print
	2024	EQ-5D-5L	spinal metastases from prostate cancer 前立腺癌に よる脊椎転移					surgery	prospective multicenter registry study	Ryosuke Hirota	J Orthop Sci	Impact of surgical treatment on patient reported outcome in patients with spinal	Online ahead of print	Online ahead of print

												metastases from prostate cancer		
		EQ-5D-5L	原発性静脈瘤					シアノアクリレート接着剤	multicenter prospective consecutive registry study	Takahiro Imai	Phlebology	Mid-term results of cyanoacrylate closure for the treatment of incompetent great and small saphenous veins: Findings from a Japanese prospective consecutive multi-center registry: Mid-term results of cyanoacrylate closure	40(1)	21-28
	2024	EQ-5D-5L	ossi cation of the posterior longitudinal ligament 後縦靱帯骨化症	51		preoperatively	0.527	surgery	longitudinal	Sadayuki Ito	J Bone Joint Surg Am	Ten-Year Follow-up of Posterior Decompression and Fusion Surgery for Thoracic Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament	106(17)	1600-1609

						10-yr postop	0.682							
	2024	EQ-5D-5L	急性期精神疾患	491		Non-readmitted group Readmitted group	0.82 0.80		multicenter prospective longitudinal study	Sosei Yamaguchi	Soc Psychiatry Psychiatr Epidemiol	Associations between readmission and patient-reported measures in acute psychiatric inpatients: a multicenter prospective longitudinal study	60(1)	79-93
	2024	EQ-5D-5L	Japanese adults 日本の成人	28405	oral conditions	total	0.90		A Cross-Sectional	Yusuke Matsuyama	Community Dent Oral Epidemiol	Health utility attributable to oral conditions in Japanese adults	52(6)	911-918
				15681		Oral Health Impact Profile: 0	0.93							
				5925		Oral Health Impact Profile: 1-5	0.90							
				6799		Oral Health Impact Profile: 6-56	0.84							

	2024	EQ-5D	adult spinal deformity (ASD) 脊柱変形症	371		LSTV- LSTV+	0.839 0.789		cross-sectional study	Jun Ouchida	Eur Spine J	Analysis of spinopelvic parameters in adult patients with lumbosacral transitional vertebrae	33(8)	2952-2959
	2024	EQ-5D-5L	Metastatic Spinal Tumors 転移性脊髄腫瘍	171						Ryosuke Hirota	Spine (Phila Pa 1976)	Prospective Registration Study for Establishing Minimal Clinically Important Differences in Patients Undergoing Surgery for Spinal Metastases	49(22)	1539-1547
	2024	EQ-5D-5L	bone sarcoma 骨肉腫 soft tissue sarcoma 軟部肉腫	235			0.71		retrospective cohort study	Hideyuki Kinoshita	Anticancer Res	Effectiveness of Carbon Ion Radiotherapy for Bone and Soft Tissue Sarcoma in Older Patients	44(4)	1773-1780

J103	2024	EQ-5D	寛骨臼形成不全	35	全体	術前	0.80	偏心性寛骨臼回転骨切り術	縦断的	橋爪 大弥	Hip Joint	偏心性寛骨臼回転骨切り術における中枢性感作評価と術後成績の関連性	50 (2)	668-670
J104	2024	EQ-5D-5L	腎不全	45	全体	術前	0.84	腎移植	縦断的	佐藤 功	日本臨床腎移植学会雑誌	腎移植術 1 年後の QOL と身体機能の関連 EQ-5D-5L を用いた検討	12 (1)	100-105
						1 年後	0.86							
J105	2024	EQ-5D-5L	小児慢性緊張型頭痛患者	1		35 病日目	0.67	薬物療法学療法	横断的	足立 功浩	Pain Rehabilitation	小児慢性緊張型頭痛患者における薬物療法と理学療法の併用効果と,多面的評価に基づいた医療連携の重要性	14 (1)	33-40
J106	2024	EQ-5D-5L	終末期がん患者	10	死亡 4 週間前	在宅群	0.467	ターミナルケア	縦断的	高橋 奈央	医療と社会	終末期がん患者における在宅療養と病院療養に関する QOL と費用の記述	34 (1)	79-89
				8		病院群	0.254							
				9	死亡 3 週間前	在宅群	0.581							
				13		病院群	0.244							
				14	死亡 2 週間前	在宅群	0.498							
				21		病院群	0.112							
				18	死亡 1 週間前	在宅群	0.282							

				26		病院群	0.052							
J107	2024	EQ-5D-5L	地域在住要支援, 要介護高齢者	39	全体	初回	0.654	通所・訪問サービス	縦断的	鹿田 将隆	作業行動研究	地域在住要支援・要介護高齢者の作業同一性の経時的変化の特徴および作業同一性とADL・健康関連 QOL との関係	27(4)	212-220
						3 ヶ月後	0.657							
				20	作業同一性質問紙 (OIQ) 低群	初回	0.646							
						3 ヶ月後	0.658							
				19	作業同一性質問紙 (OIQ) 高群	初回	0.654							
						3 ヶ月後	0.657							
J108	2023	EQ-5D-5L	心血管疾患患者	448	心血管疾患患者	全体	0.88	心臓リハビリテーション	横断的	金島 侑司	理学療法兵庫	心臓リハビリテーション患者におけるヘルスリテラシーと効用値との関係性:多施設臨床研究	29	38-40
				179		高ヘルスリテラシー群	0.89							
				269		低ヘルスリテラシ	0.87							

						一群								
J109	2024	EQ-5D-5L	神経筋疾患患者	221	神経筋疾患患者	全体	0.72		横断的	中原 圭一	難病と在宅ケア	神経難病センターを基盤とした神経疾患レジストリの構築と運用	29 (11)	58-60
		EQ-5D-5L	通所 C 利用者	27						三宅 英司	自立支援介護・パワーリハ学	コーチングによる通所型短期集中予防サービスにおける新たな社会参加獲得に関連する要因の検討	18(2)	100-107
	2024	EQ-5D	慢性腰痛症患者	10		介入前	0.414	いきいきリハビリノートを用いた運動促進法	縦断的	藤井 孝充	国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター医学雑誌	慢性腰痛症に対するいきいきリハビリノートを用いた運動促進法の短期治療成績	11(1)	1-4
						介入後	0.66							
	2023	EQ-5D-3L	Total hip arthroplasty 股関節全置換術	286		術前	0.618	人工股関節全置換術	縦断的	Yakushiji Kanako	Japan Journal of Nursing Science	人工股関節全置換術施行患者の長期的健康関連 QOL と日本の国民皆保険制度における費用対効果分析 (Long-term health-related quality of life of total hip arthroplasty patients and cost-effectiveness analysis in the Japanese universal health insurance system)(原著論文/英語)	20(4)	1-14

				286		術後 1 年	0.853							
				260		術後 3 年	0.871							
				229		術後 5 年	0.886							
				227		術後 7 年	0.852							
		EQ-5D-5L								木村 青児	日本足の外科学会雑誌(0916-7927)45 巻 1 号 Page165-167(2024.08)	高齢者の足関節骨折術後の早期荷重の検討 多施設コホート研究 (原著論文)		
		EQ-5D								嶋田 亘	Phil 漢 方 (1347-6882)102 号 Page10-13(2024.07)	整形外科領域における 人参養栄湯の有用性 (原著論文)		
	2023	EQ-5D-5L	α 1-アンチトリプシン欠乏症	1	急性肺炎治療後	α 1-アンチトリプシン補充療法	記 載 な し	α 1-アンチトリプシン補充療法	症例報告	鳴海 圭倫	旭川医療センター医学雑誌	急性肺炎治療後 α 1-アンチトリプシン補充療法を長期間継続した α 1-アンチトリプシン欠乏症の 1 例(原著論文)	9	18-21
	2023	EQ-5D-5L	婦人科病棟看護師	25					アンケート調査	三浦 貴子	静岡赤十字病院研究報	化学療法誘発性末梢神経障害評価シート導入による病棟看護師の看護実践の変化(原著論文)	43(1)	14-21
	2023	EQ-5D-3L	soft-tissue sarcoma of the thigh 大腿部発生軟部肉腫	15		大腿軟部肉腫	記 載 な し	切除術	縦断的	Tanaka Atsushi	International Journal of Clinical Oncology	大腿軟部肉腫の筋力と機能回復 前向き研究 (Muscle strength and functional recovery for soft-tissue sarcoma of the thigh: a prospective	28(7)	992-927

												study)(原著論文/英語)		
	2023	EQ-5D	関節リウマチ	146		頸部痛 (-) 頸部痛 (-)	0.82 0.68		横 断 的 (multicenter study)	Suzuki Akinobu	Modern Rheumatology	関節リウマチ患者にお ける頸部痛とその関連 因 子 (Neck pain and related factors in patients with rheumatoid arthritis)(原著論文/英 語)	33(3)	503- 508
	2023	EQ-5D- 5L	関節リウマチ	2443		寛解期	0.9		後方視的	Sakai Ryoko	Modern Rheumatology	IORRA データベース に基づく臨床的寛解を 達成した関節リウマチ 患者の QOL に関連す る 主 観 的 症 状 (Subjective symptoms contributing to the quality of life of rheumatoid arthritis patients with clinical remission from the IORRA database)(原 著論文/英語)	33(3)	496- 502
	2023	EQ-5D- 3L	認知症カフェ参加住 民	20	軽 度 認 知 症, フレイ ル予備群			認知症カ フェへの 参加	縦断的	岡藤 農	山口作業療法	認知症カフェでのフレ イル予防対策 地域支 援で私達専門職が行え る事(原著論文)	15(1)	43-45

	2023	EQ-5D-5L	gynecologic cancer 婦人科がん	100	gynecologic cancer receiving anti-cancer drug treatment for > 2 months		0.773		横断的 (multicenter study)	Kajimoto Yusuke	International Journal of Clinical Oncology	婦人科癌患者の経済毒性と健康関連 QOL との関連 (Association between financial toxicity and health-related quality of life of patients with gynecologic cancer)(原著論文/英語)	28(3)	454-467
	2023	EQ-5D	chronic knee pain 慢性膝関節痛	46		資料に基づく教育 簡潔な自己運動教育	0.760 0.792	疼痛教育	RCT	Jinnouchi Hiroshige	Modern Rheumatology	慢性膝関節痛を有する成人に対する簡単なセルフエクササイズ教育無作為化比較試験 (Brief self-exercise education for adults with chronic knee pain: A randomized controlled trial)(原著論文/英語)	33(2)	408-415
	2023	EQ-5D-3L	hand disease 手の疾患	1038		total	0.66		縦断的	Kosugi Kenji	Journal of Orthopaedic Science	手部疾患患者と膝関節、腰椎などの筋骨格障害患者の健康関連 QOL にみられる性差の比較 (Comparison of gender differences in health-related quality of life between patients with hand disease and those	28(1)	147-151

												with other musculoskeletal disorders of the knee and lumbar spine)(原 著論文/英語)		
				503		men	0.72							
				535		women	0.68							